

伊勢国に生まれた夢窓疎石は「国師」という最高位の僧の称号を与えられたため「夢窓国師」とも呼ばれる。平塩寺推定地一帯はこの疎石が幼少期を過ごした地でもありいくつか旧跡が残る。

3 平塩寺(推定地)

現在の平塩の丘を中心にあつた。天平勝宝7年(755)行基開山と伝えられている。当初は法相宗だったが延暦年間(782~806)に天台宗になり、その後承久2年(1220)に真言宗に改宗されたという。天正10年(1582)に天正壬午の乱により焼失し廃寺となったと伝わる。



4 夢窓国師母堂の墓

文久元年(1861)と大正12年(1923)に建てられた2基の石塔がある。

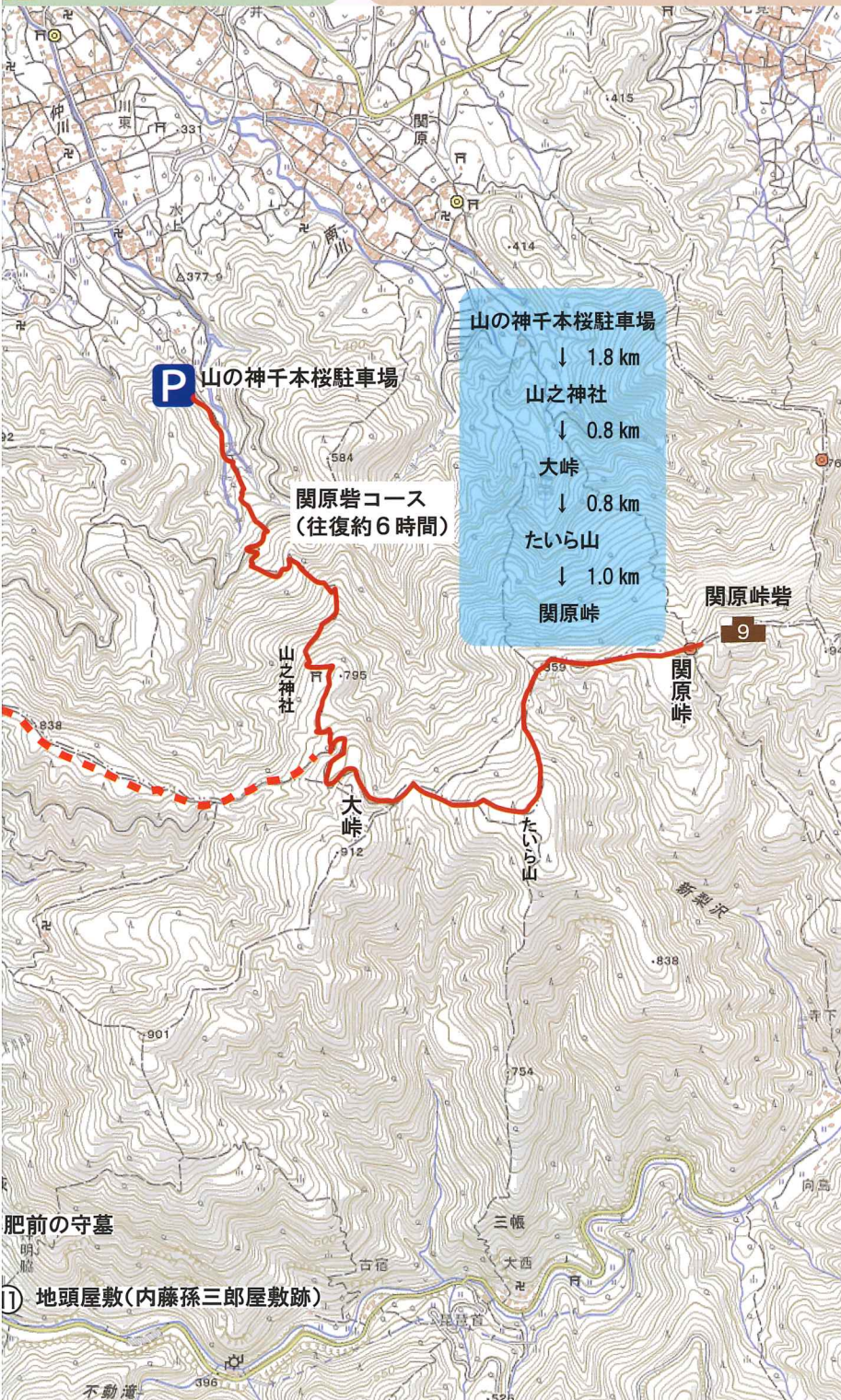


5 宝寿院

平塩寺関連の寺院の一つで西塔院だったといわれている。庭園は夢窓国師の作と伝わる。

2 甲斐源氏旧社

源義清居館跡と伝わる熊野神社東に明治18年(1885)に三条実美の揮毫の銅碑が建立された。町指定文化財。



8 一条氏墓跡

別名上野城。武田信虎の八男、一条信龍の城地である。現在蹴裂神社が建っている。町指定史跡。



9 関原峠

この峠道は古代から甲斐と駿河を結ぶ中道往還の脇往還からの峠道として利用されていた。天正壬午の乱のときに峠道を守るために砦を築いたといわれている。現地では土壘状の高まりを見ることができる。



10 内藤肥前の守墓

内藤家は代々武田家に仕え、九一色衆十七騎の一人である。近くに地頭の屋敷、蔵屋敷という地名が残る。屋敷跡といわれている。町指定文化財。

11 地頭屋敷(内藤孫三郎屋敷跡)

孫三郎は内藤肥前の守の子供。現在は明確な遺構は残っていない。